2024年度
お客さま本位の業務運営に関する取組状況

秋田銀行では、「お客さまの思い描く将来の実現を、生涯にわたって支えるライフパートナーになる」という考えのもと、お客さまの資産形成、運用関連業務に関する方針として「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を制定し、実践しております。この取組みを表す指標〔ＫＰＩ(注)〕と結果については、年度ごとに公表しております。

（注）KPI …「Key Performance Indicator」の略称

秋田銀行

取組方針に基づく主な取組み

	取組方針	主な取組み（概要）
1	お客さまの最善の利益の追求	• 「お客さまの最善の利益」の考え方 • お客さまの最善の利益を追求する行動 • 中長期分散投資を軸としたお客さま本位のライフコンサルティング • 「そなえる」「のこす」準備に向けたライフコンサルティング • コンサルティング力の向上
2	利益相反の適切な管理	• 利益相反の適切な管理
3	手数料等の明確化	• ご負担いただく手数料イメージとご提供するサービス
4	重要な情報の分かりやすい提供	• お客さまへの重要な情報のご提供 • 重要情報シート、金融商品比較マップの活用
5	お客さまにふさわしいサービスの提供	• 商品ラインナップ整備の考え方 • フォローアップ • お客さま本位の業務運営にかかるモニタリング • リスク性金融商品の販売にかかるモニタリング • 資産形成をサポートする積極的な情報発信
6	職員に対する適切な動機づけの態勢	• お客さま本位の業務運営定着に向けた人財育成

取組方針と取組みを表す指標【ＫＰＩ】

取組方針	主な取組み	指標【ＫＰＩ】
お客さまの 最善の利益の追求	• 「お客さまの最善の利益」の考え方 • お客さまの最善の利益を追求する行動 • 中長期分散投資を軸としたお客さま本位のライフコンサルティング • 「そなえる」「のこす」準備に向けたライフコンサルティング • コンサルティング力の向上	①お客さま満足度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３ ②お客さま本位の取組方針の説明回数・・・・・・・・・・・Ｐ４ ③ライフコンサルティングツール利用率・・・・・・・・・・Ｐ４ ④ポートフォリオ提案ツール使用率・・・・・・・・・・・・Ｐ４ ⑤スキルランク別行員数・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５ ⑥預り資産保有残高および預り資産契約者数の推移・・・・Ｐ６ ⑦投資信託保有顧客数・平均保有年数・・・・・・・・・・Ｐ７ ⑧積立投信契約者数・積立投信振替額・・・・・・・・・・Ｐ８ ⑨ＮＩＳＡ口座数・ｉＤｅＣｏ契約件数・・・・・・・・・Ｐ９ ⑩投資信託の運用損益別顧客比率（共通KPI）・・・・・・・Ｐ10 ⑪外貨建一時払保険の運用評価別顧客比率（共通KPI）・・・Ｐ11
お客さまに ふさわしいサービス の提供	• 商品ラインナップ整備の考え方 • フォローアップ • お客さま本位の業務運営にかかるモニタリング • リスク性金融商品の販売にかかるモニタリング • 資産形成をサポートする積極的な情報発信	⑫投資信託商品の取扱数および新規取扱・取扱中止の実績・Ｐ15 ⑬保険商品の取扱数および新規取扱・取扱中止の実績・・・Ｐ15 ⑭投資性商品の販売上位商品・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ17 ⑮投資信託預り残高上位２０銘柄（共通KPI）・・・・・・・Ｐ18 ⑯投資信託のリターン実績（コスト・リターン）（共通KPI）Ｐ19 ⑰投資信託のリターン実績（リスク・リターン）（共通KPI）Ｐ20 ⑱外貨建一時払保険のリターン実績（コスト・リターン）（共通KPI）・Ｐ21 ⑲マネー講座セミナー実施数・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ22

お客さまの最善の利益の追求

「お客さまの最善の利益」の考え方

- 秋田銀行は、お客さまの生涯にわたるパートナーを目指し、幅広い年齢層のお客さまに対して、ライフイベントやライフプランなどに応じたアドバイスとともに商品やサービスを提供し、豊かな暮らしをサポートすることが、「お客さまの最善の利益」につながるものと考えております。

お客さまの最善の利益を追求する行動

- お客さま本位の業務運営取組方針・行動計画を企業文化として定着させるため、お客さまにふさわしいサービス提供プロセスを記した「ライフパートナー営業ガイドライン」を制定しました。従業員向けの各種研修で周知し、お客さまの最善に利益を追求する活動を行っております。

お客さま満足度

- お客さま満足度を把握するため、定期的にお客さまアンケートを実施しております。2024年度調査では、2024年度10月～12月中に店頭（渉外を含む）で金融商品※をご購入いただいたお客さまを対象として実施いたしました。

  ※対象のお取引は、投資信託（口座開設、一括ご購入、積立投信の新規ご契約）および生命保険の新規ご契約
- お客さまに寄り添い、お客さまの資産形成に貢献しようとする姿勢を高く評価していただいたことをふまえ、さらなる業務改善に向け高い評価をいただけるよう努めてまいります。

2024年度アンケートの結果　　**郵送先数：1,562名、回答者数：711名**

NPS評価	2020年度	2021年度	2024年度
	A	A	A

NPSとは？	
	ご家族やご友人から相談を受けた際、ご自身の弊行担当者をすすめたいか、0～10段階で評価していただく指標です。「すすめたい」(9～10点)の割合から、「すすめたいと思わない」(0～6)の比率を差し引いて算出します。 NPSカテゴリ(A:25以上、B:10～24、C:0～9、D:0未満)

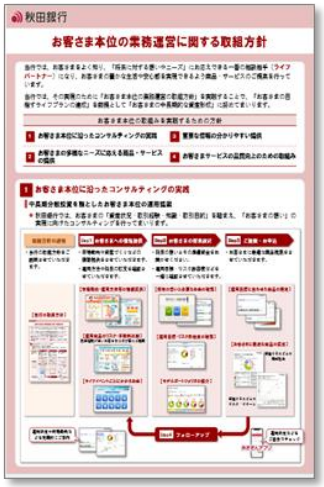
中長期分散投資を軸としたお客さま本位のライフコンサルティングプロセス

- 秋田銀行では、お客さまの資産状況・取引経験・知識・取引目的を踏まえ、お客さまのライフプランの実現に向けたコンサルティングを行っております。
- ライフコンサルティングツールを用いて、お客さまがライフプランにおいてどのような目標（ゴール）をお持ちであるか丁寧にお伺いしながら、ＮＩＳＡ制度を活用した積立投資による時間分散や資産分散等をご提案し、中長期的な資産形成・運用のご支援を行っております。
- お客さまのライフプラン実現に向けてお客さまにふさわしい資産形成・資産運用提案のため、お客さまのリスク許容度に応じた最適なポートフォリオと商品のご提案を行っております。

「そなえる」「のこす」準備に向けたライフコンサルティングプロセス

- 秋田銀行では、人生100年時代における各種リスクへの備えなど多様化しているお客さまニーズにお応えしております。
- お客さまの大切なご資産を守り、次世代に繋いでいくために、保険商品をはじめとした幅広い商品やサービスをご提供しております。

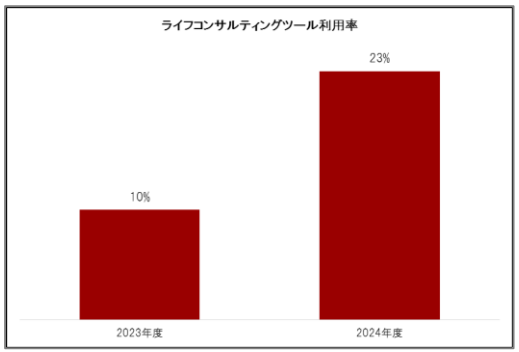
【お客さま本位の業務運営に関する取組方針】

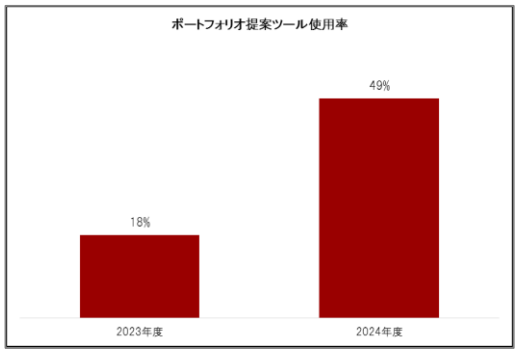


お客さま本位の業務運営の方針やご提供するライフコンサルティングサービスの内容を分かりやすくご理解いただくため、情報提供資料「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を用いてご説明しております。2024年度、ご説明させていただいた回数は19,003回です。

【ライフコンサルティングツール】

【ポートフォリオ提案ツール】





コンサルティング力の向上に向けた研修の実施

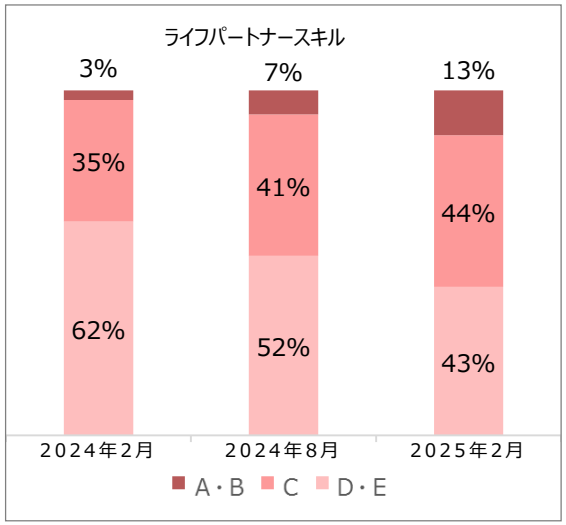
- お客さま本位についての考え方およびそれらを踏まえたお客さま対応のあり方を学んだうえで、お客さまの最善の利益を追求する営業活動を行っていくため、コンサルティング力向上に向けた研修を実施しております。

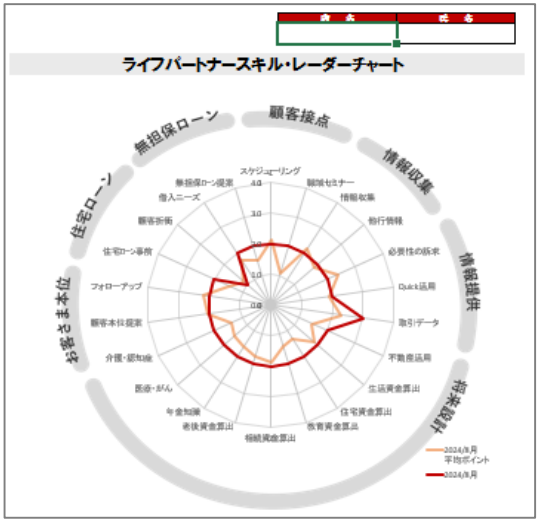
研修、自己学習プログラムの概要

研修	• 業務経験や階層に応じた集合研修 • 地区別のミーティング形式の研修 • 商品・テーマに応じたweb研修（運用会社・保険会社）
自己啓発	• スキルマップによる対応力向上 • 通信講座・ｅラーニング

スキルアップに向けた取組み

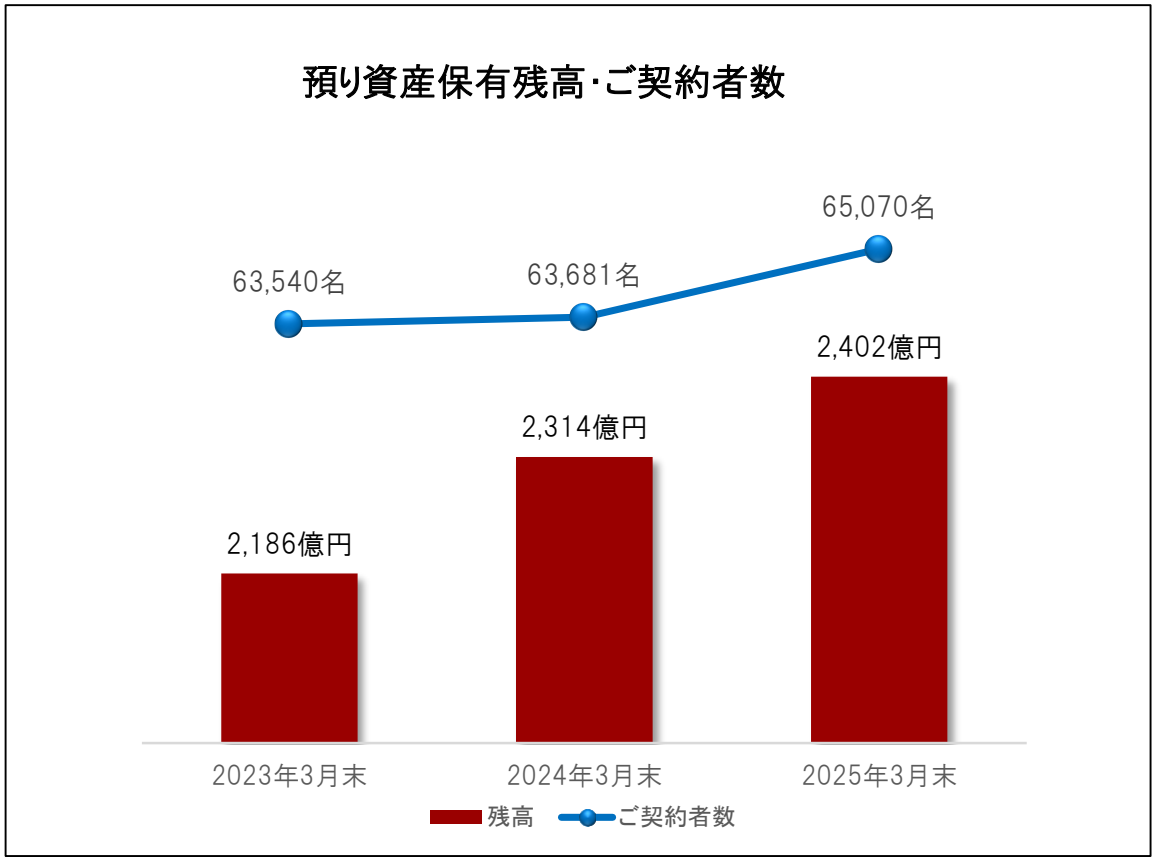
- 2023年度から導入している「スキルマップ」では、行員一人ひとりが強み・弱みを把握し、スキルレベルの向上をはかっております。
2025年2月のスキル判定では、初めてCランク以上の割合が5割を超えるなど、スキルアップにつながっております。
※スキルランク５段階（上位からA～E）





預り資産保有残高および預り資産契約者数の推移

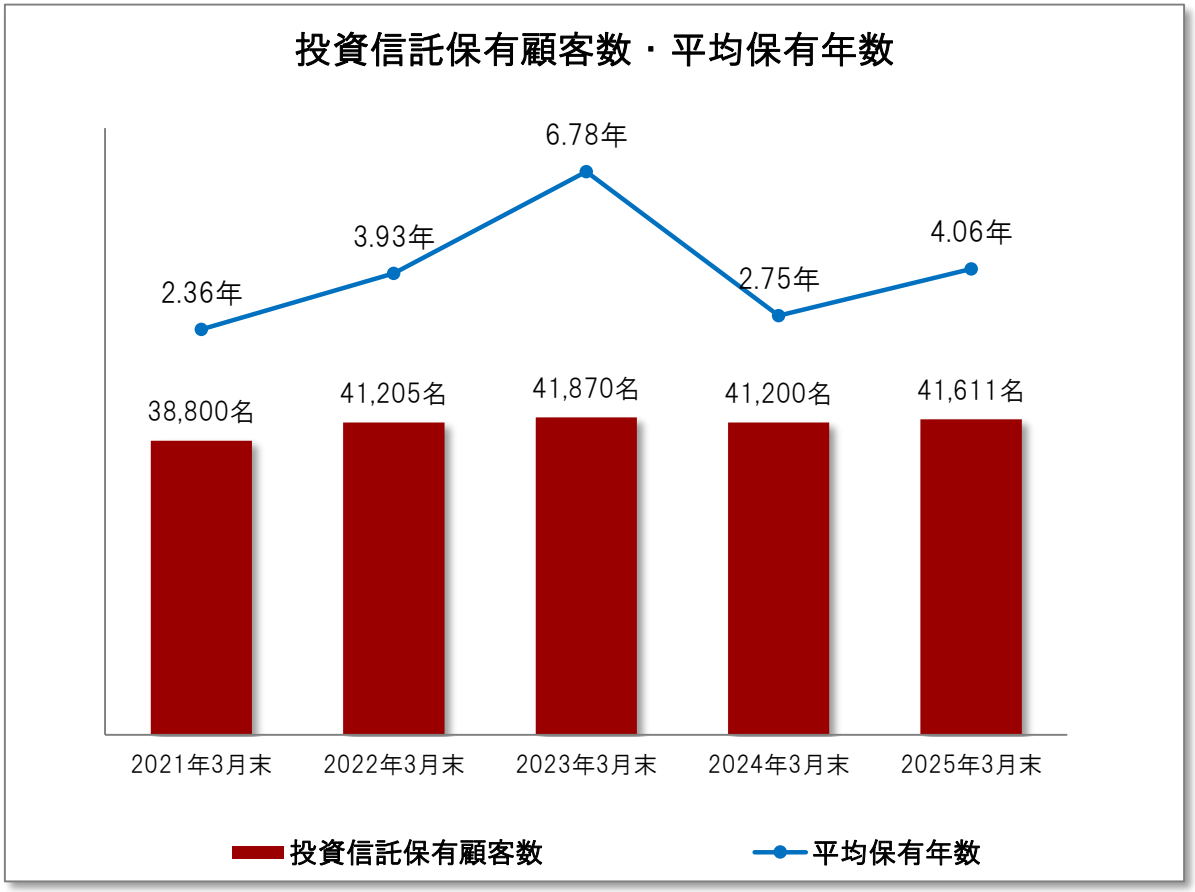
- 預り資産残高および預り資産契約者数は前年度比増加となっております。



※投資信託、生命保険および公共債を合算しております。

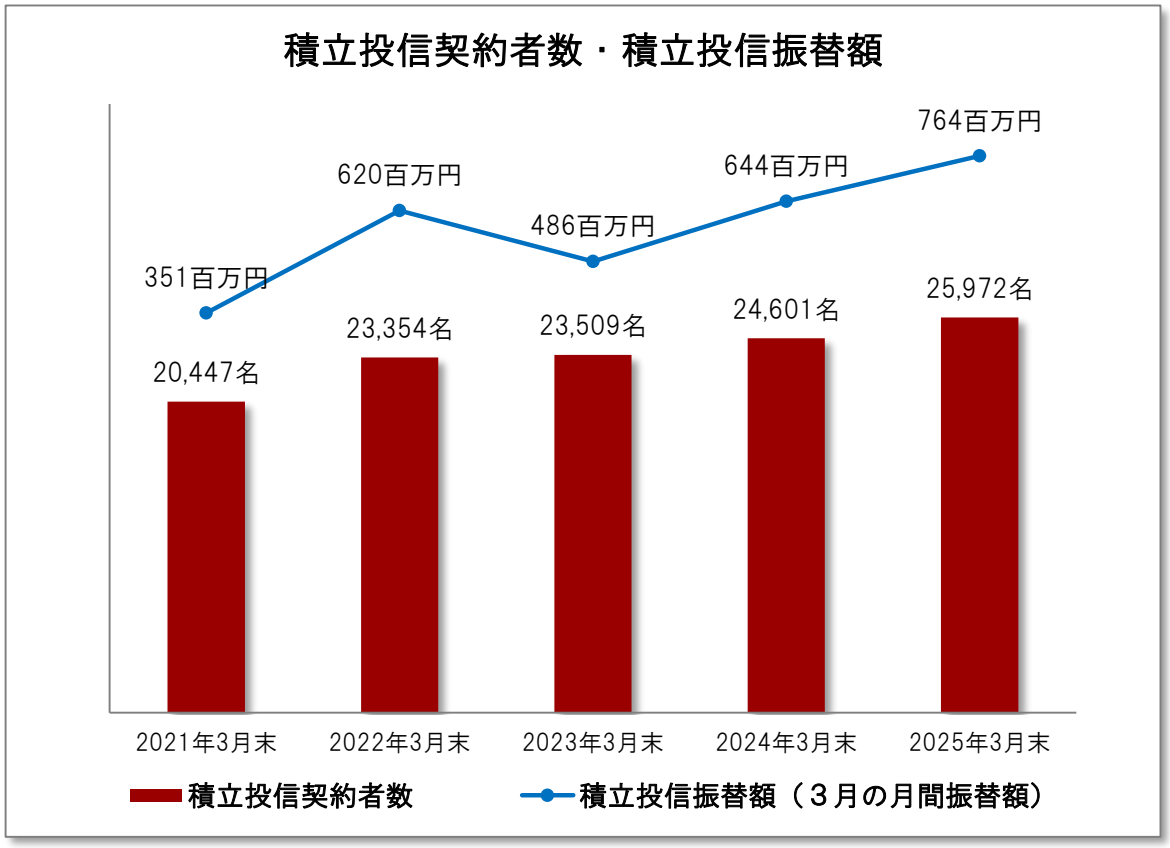
投資信託保有顧客数・平均保有年数

- 投資信託保有顧客数・平均保有年数ともに前年度比増加となっております。



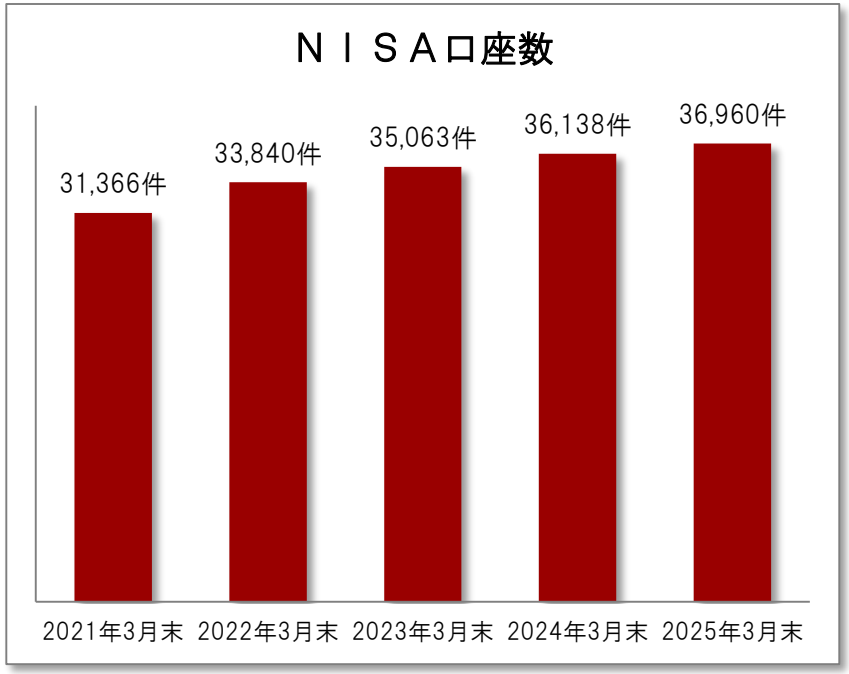
積立投信契約者数・積立投信振替額

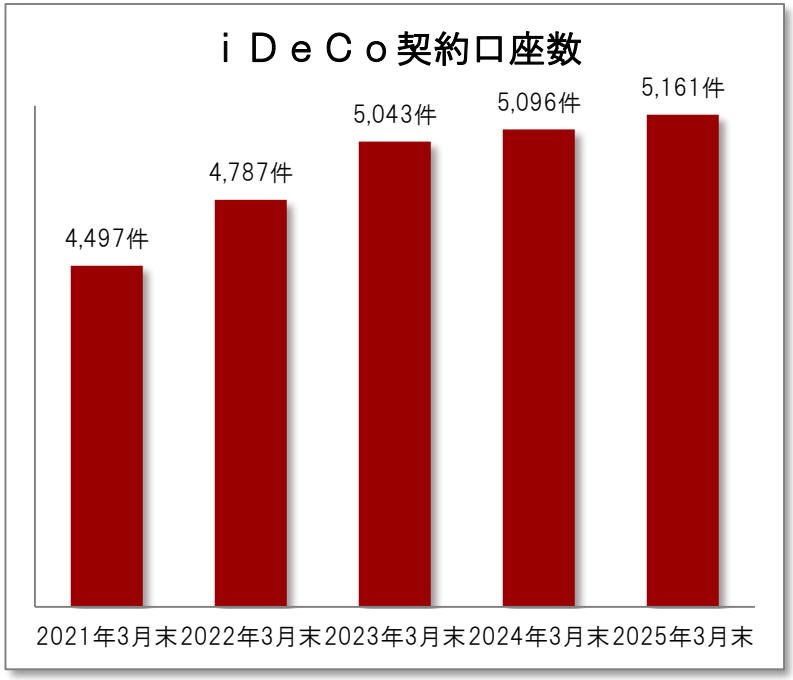
- お客さまのライフプランを踏まえた中長期的な資産形成を支援し、時間分散・資産分散等による資産形成をご提案しております。
- 積立投信契約者数、積立投信振替額は、あらたに積立投資を始められるお客さまが増えていることから、契約者数・積立投信振替額ともに増加しております。



ＮＩＳＡ口座数・ｉＤｅＣｏ契約口座数

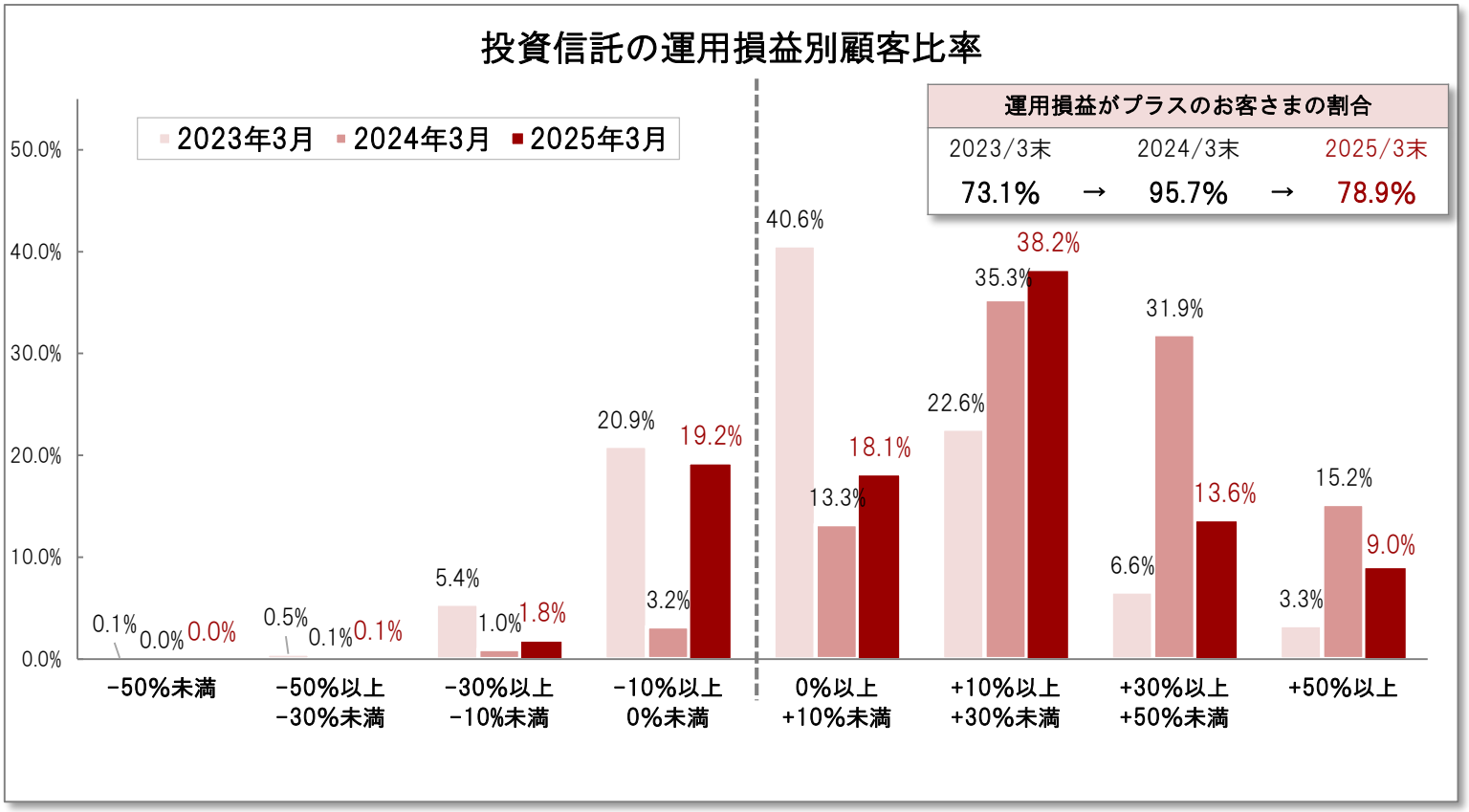
- ＮＩＳＡ制度を活用して新たに資産形成・運用を行うお客さまが増えたことから、前年に続きＮＩＳＡ口座数は増加しております。
- 老後のライフプランの実現に向けてｉＤｅＣｏを活用した資産形成を行うお客さまが増えたことから、ｉＤｅＣｏ契約口座数は増加しております。





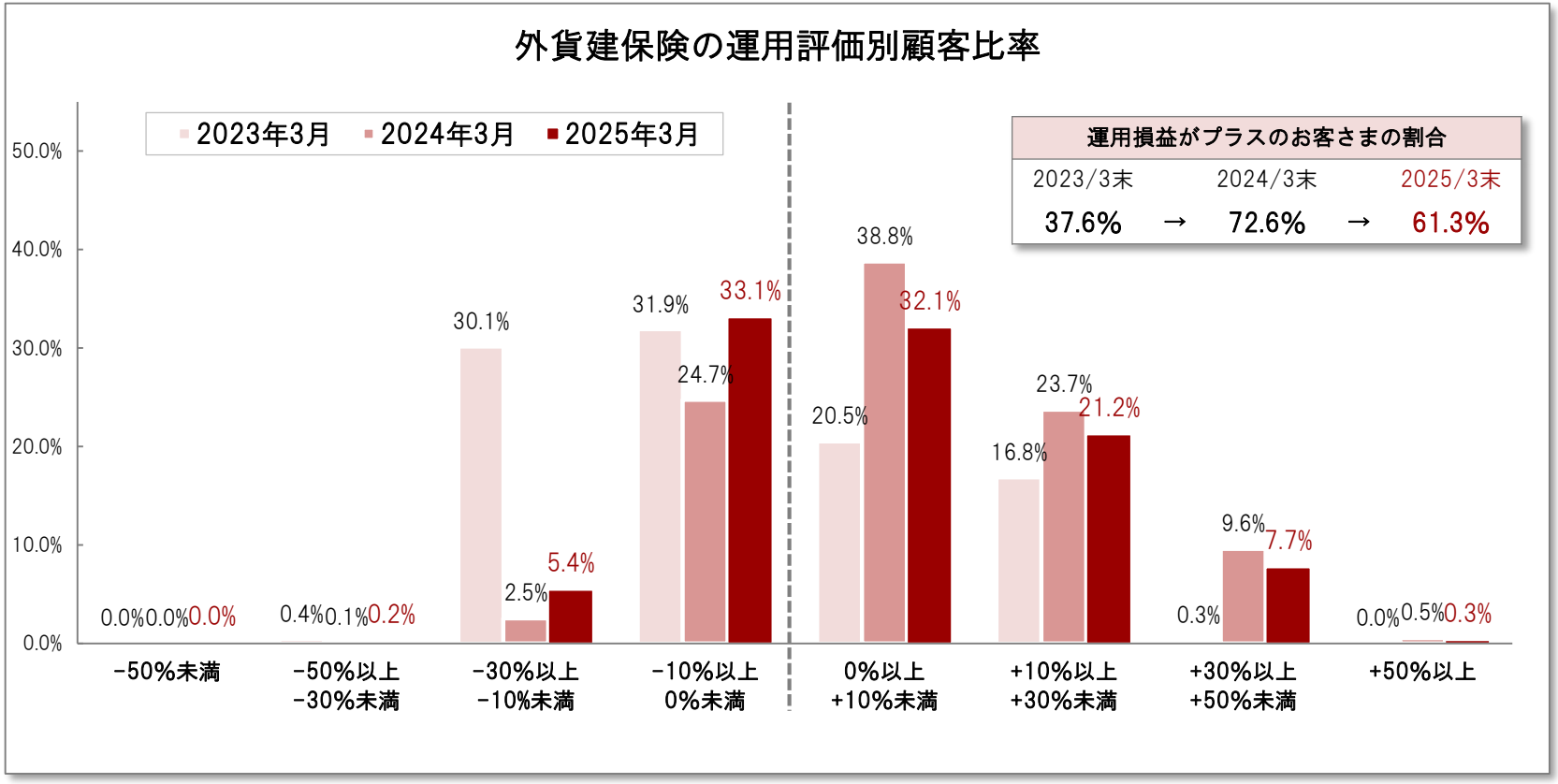
投資信託の運用損益別顧客比率

- 2025年3月末で投資信託を保有されているお客さまのうち、運用損益がプラスとなっているお客さまの割合は78.9%となっております。株価・為替相場等の影響もあり、前年度比では減少しております。



外貨建保険の運用評価別顧客比率

- 2025年3月末で外貨建保険を保有されているお客さまのうち、運用損益がプラスのお客さまの割合は61.3%となっております。金利・為替相場等の影響もあり、前年度比では減少しております。



2 利益相反の適切な管理

利益相反の適切な管理

- 利益相反とは、秋田銀行（秋田銀行のグループ会社を含む）とお客さまの間でお互いの利益が相反する状況をいいます。
- 秋田銀行は、同一グループ内に投資信託その他金融商品の運用会社や提供会社がないため、お客さまへの金融商品の勧誘販売に際して、同一グループ内の利益を優先するなど、お客さまの利益を不当に害するような利益相反は発生しません。

3・4 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

ご負担いただく手数料イメージとご提供するサービス

- 金融商品のご提供にあたり、お客さまから手数料をいただく場合や、お客さまにご負担いただく費用とは別に、金融商品の提供会社から販売代理店手数料等を受け取る場合があります。
- 手数料については、金融商品のご提供にあたって必要となる、商品の開発・選定、提案資料等の作成、アフターフォローまで含めたコンサルティングサービスのご提供、お客さまに安心してご利用いただけるシステムなどの費用を総合的に勘案して設定しております。
- お客さまからいただく手数料やその他の費用に関しましては、重要情報シート（個別商品編）、目論見書、契約締結前交付書面等でご提案の際に分かりやすくご説明しております。
- 投資信託の販売につきましては、「投資信託ご購入提案書」を活用し、実際の購入手数料の総額や運用管理費用（信託報酬等）の手数料率等のお客さまが負担するコストをご説明しております。

重要情報シート（個別商品編）
費用記載欄

3 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	お申込価額に2.2%（税抜2.0%）の手数料率を乗じて得た額とします。 なお、お申込手数料には消費税がかかります。
継続時に支払う費用 （信託報酬など）	運用管理費用（信託報酬率）：年率1.727%（税抜1.57%） その他費用・手数料が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率を表示することはできません。
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。

※上記以外に生ずる費用を含めて、詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】「ファンドの費用・税金」に記載しています。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
・この投資信託に○○万円を投資したら、実際にどのくらい費用がかかるのか説明してほしい。
・費用がより安い類似商品があれば、その商品について説明してほしい。

投資信託 ご購入提案書

3・4 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

重要情報シートの活用

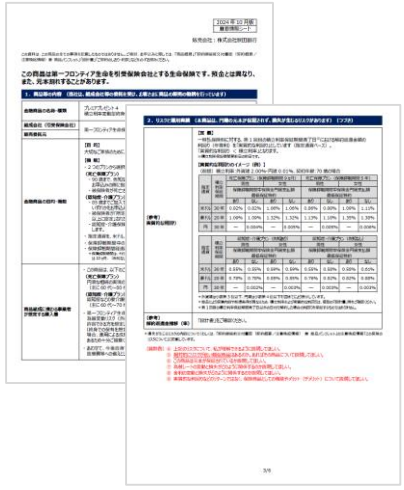
- 商品の特性やリスク、手数料等の重要な情報をお客さまに分かりやすく提供し、金融商品の比較を容易にするため、重要情報シート（金融事業者編）・（個別商品編）を活用しております。
- 投資信託や生命保険など、複雑またはリスクの高い商品をご提案する場合は、お客さまの投資経験やリスク許容度等を踏まえ、取扱商品について、分かりやすくご説明しております。
- 商品の特性・リスクを踏まえ、お客さまにとってふさわしくない場合には、ご提案を控えさせていただいております。

金融商品比較マップの活用

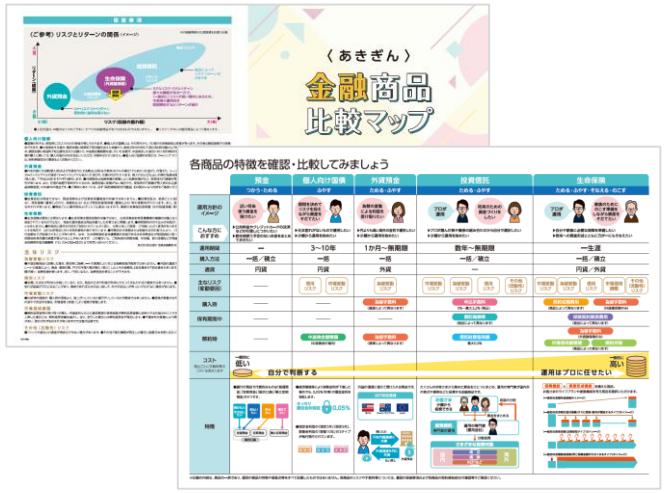
- お客さまのライフプランの実現に向けて最適な商品をご選択いただくために、金融商品比較マップを活用し、当行で取扱いのある金融商品について、リスクや手数料等の特徴を横断的に比較し、分かりやすくご説明しております。

重要情報シート
（金融事業者編）

重要情報シート
（個別商品編）



金融商品比較マップ



商品ラインナップの整備

- 商品選定にあたっては、お客さまのライフプランの実現をめざすことを目的とし、「長期・分散・積立」を軸とした安定的な資産形成・資産運用に資する商品を取り揃えております。
- 商品選定基準にもとづき、商品導入後も運用状況や商品性を事後検証し、必要に応じて商品の見直しを実施しております。

＊秋田銀行は金融商品の組成には携わっておりません。

投資信託商品の取扱数および新規取扱・取扱中止の実績

投資対象	取扱数		2024年度増減		
		比率		新規取扱（＋）	取扱中止（▲）
国内債券	3	4.6%	0	0	0
国内株式	6	9.2%	2	2	0
海外債券	12	18.5%	1	1	0
海外株式	19	29.2%	2	2	0
バランス	17	26.2%	4	4	0
国内リート	3	4.6%	1	1	0
海外リート	4	6.2%	1	1	0
コモディティ	1	1.5%	0	0	0
合計	65	100.0%	11	11	0
（うちIB専用）	33	50.8%	0	0	0

保険商品の取扱数および新規取扱・取扱中止の実績

商品種類			取扱数		2024年度増減		
				比率		新規取扱（＋）	取扱中止（▲）
一時払	円建		8	42.1%	0	0	0
		定額年金	2	10.5%	0	0	0
		定額終身	6	31.6%	0	0	0
	外貨建		11	57.9%	0	0	0
		定額年金	2	10.5%	0	0	0
		定額終身	9	47.4%	0	0	0
	合計		19	100.0%	0	0	0
平準払	年金		3	9.4%	0	0	0
	終身		2	6.3%	0	0	0
	学資		3	9.4%	0	0	0
	定期･収入保障		6	18.8%	0	0	0
	就業不能保障		2	6.3%	0	0	0
	医療		11	34.4%	0	0	0
	がん		3	9.4%	0	0	0
	介護･認知症		2	6.3%	0	0	0
	合計		32	100.0%	0	0	0

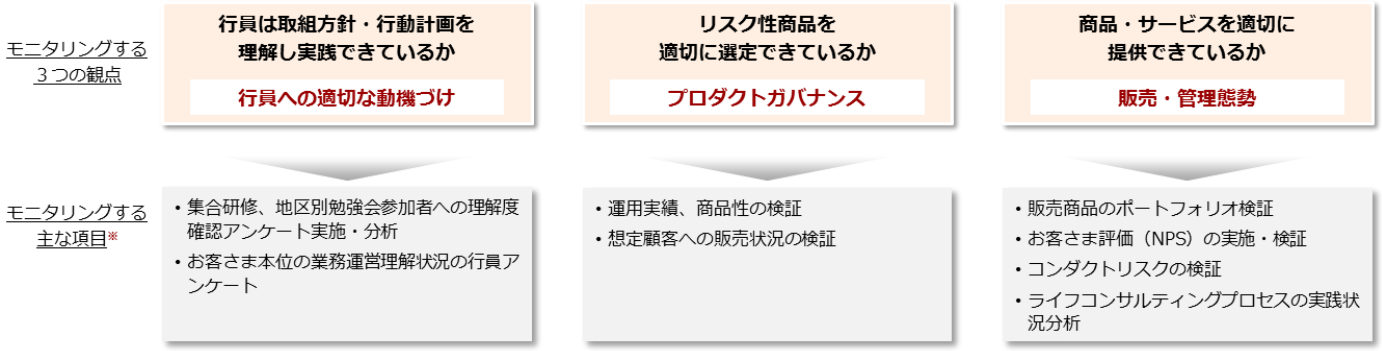
お客さまにふさわしいサービスの提供

フォローアップ

- 秋田銀行では、「ご契約からがスタート」と考えており、お取引の内容と合わせて、日々変化していくお客さまのライフプランや運用方針を定期的に確認させていただいております。
- 投資信託や生命保険などの商品をご契約いただいているお客さまに対しては、定期的なフォローアップに加えて市場動向が大きく変動した場合等に適時適切なフォローアップを行っております。

お客さま本位の業務運営にかかるモニタリング

- お客さま本位の業務運営の実現と定着に向けて、「行員への適切な動機付け」「お客さまにご提供する商品が適切にラインナップされているか」「お客さまに適切な商品・サービスがご提供できているか」という３つの観点から検証を行っております。

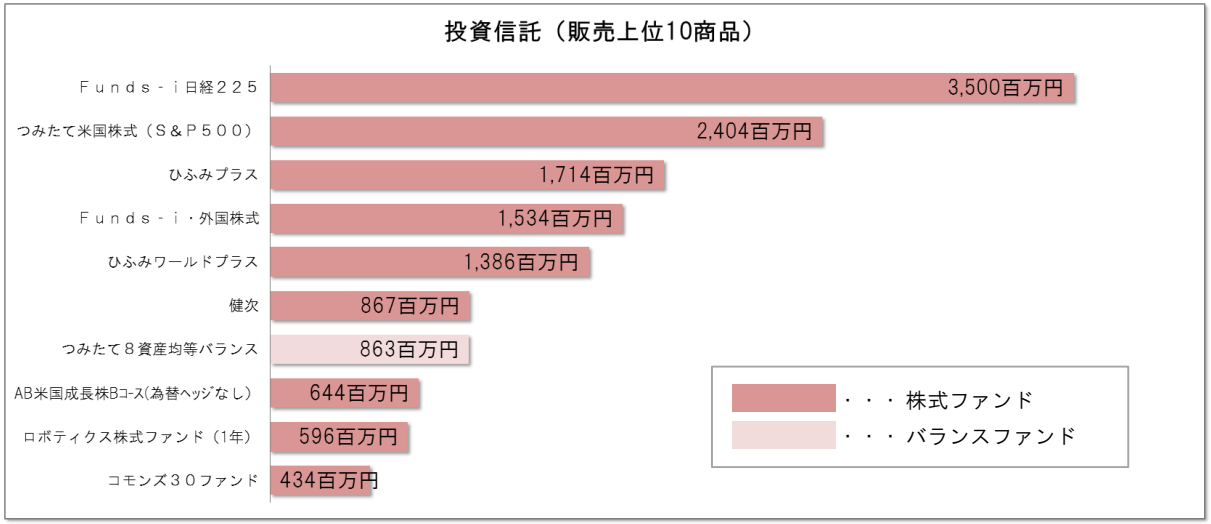


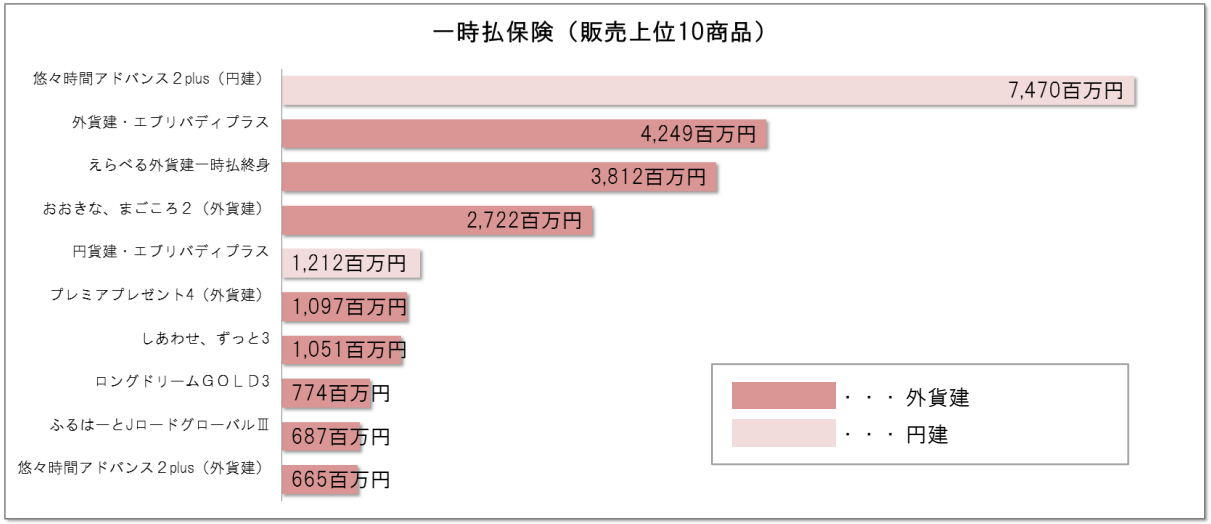
リスク性金融商品の販売にかかるモニタリング

- リスク性金融商品をご契約いただくご高齢のお客さまに対しましては、管理職の行員がお客さまの健康状態・これまでの投資経験・今後の運用方針などを確認させていただいております。

投資性商品の販売上位商品

- 秋田銀行では、お客さまのニーズやライフイベントに応じた資産運用提案を行っております。





投資信託預り残高上位20銘柄

- 残高上位20銘柄中、19銘柄でリターンがコストを上回っております。

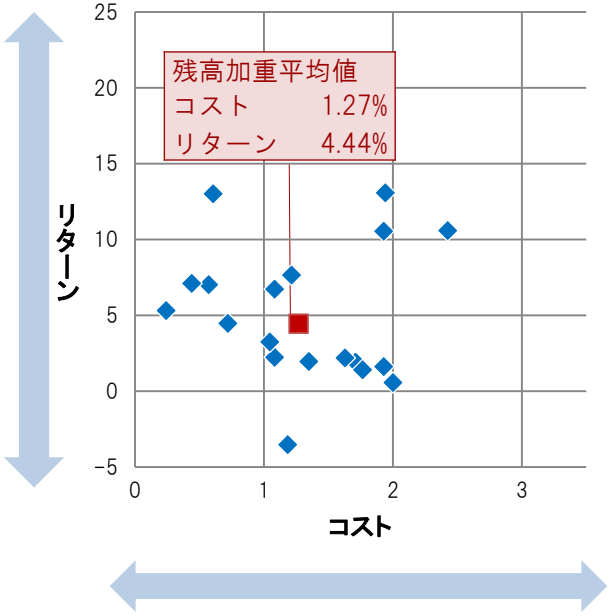
2025年3月末

順位	銘柄名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
①	ひふみプラス	1.52	12.80	10.50
②	ひふみワールド＋	2.07	16.47	19.75
③	野村インデックスファンド・外国株式	0.61	15.26	23.70
④	つみたて米国株式（Ｓ＆Ｐ５００）	0.22	16.19	25.31
⑤	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	2.86	14.21	12.31
⑥	野村インデックスファンド・日経225	0.44	15.63	15.04
⑦	グローバル・ロボティクス株式ファンド（１年決算型）	2.38	19.68	20.51
⑧	財産３分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.05	7.71	6.56
⑨	インデックスファンド２２５	1.01	15.62	15.00
⑩	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	1.56	8.55	4.11
⑪	つみたて８資産均等バランス	0.24	8.10	11.13
⑫	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.00	4.97	2.06
⑬	グローバル・フィンテック株式ファンド	2.37	36.90	15.19
⑭	ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	1.96	23.10	19.93
⑮	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（１年決算型）	2.37	27.37	20.78
⑯	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	1.16	10.91	4.77
⑰	コモンズ３０ファンド	1.52	14.05	13.86
⑱	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	1.90	16.79	13.01
⑲	トレンド・アロケーション・オープン	1.18	5.58	-0.15
⑳	ＨＳＢＣ インド オープン	2.64	17.87	26.70

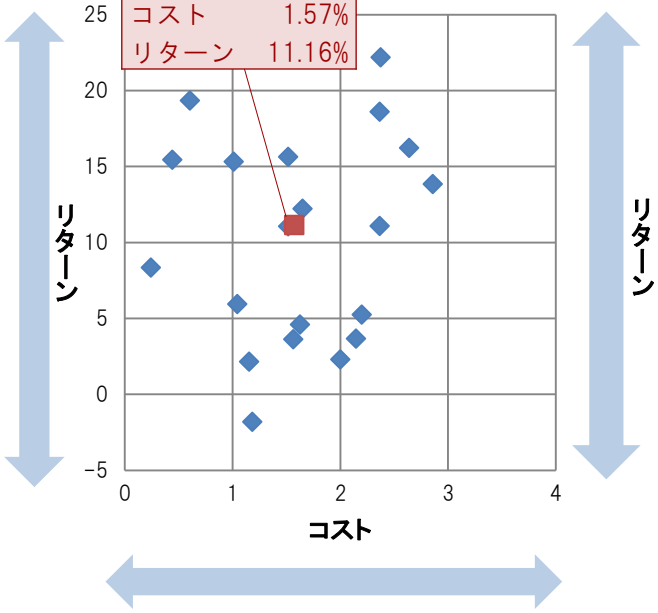
（注）１　上位銘柄は設定後５年以上経過している投資信託を対象（現在募集停止している銘柄を含む）
２　コストは、過去５年間の１年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示
３　リスクは、過去５年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示
４　リターンは、過去５年間のトータルリターンを年率に換算して表示

投資信託のリターン実績（コスト・リターン）

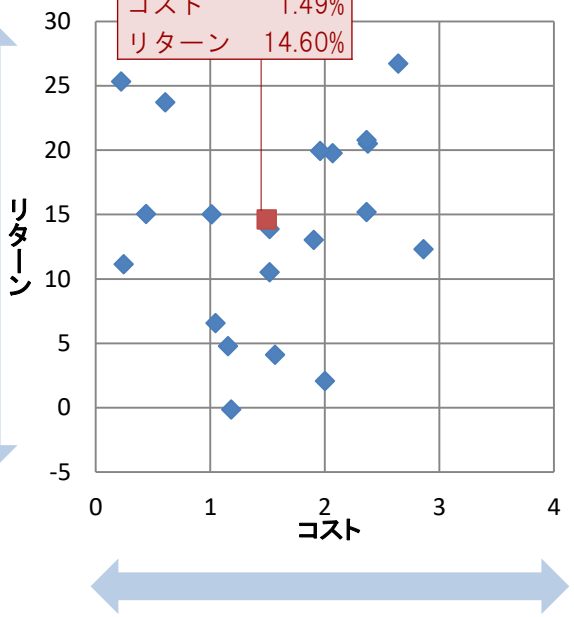
コスト・リターン（2023年３月末）



コスト・リターン（2024年３月末）

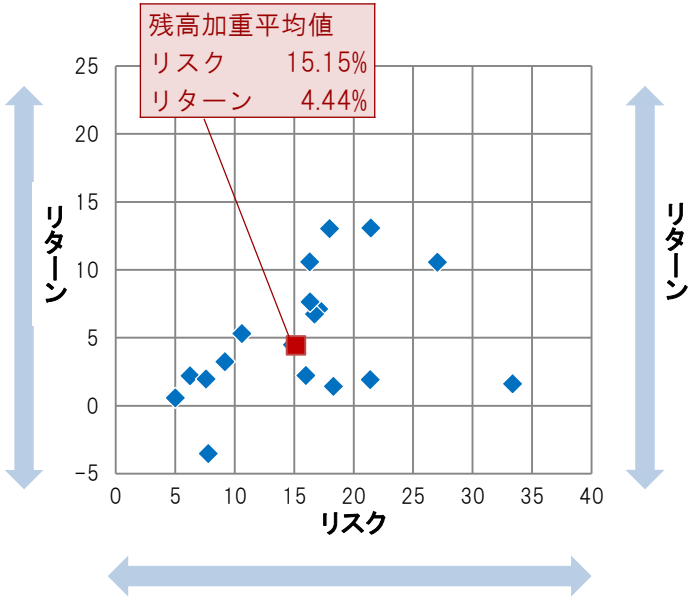


コスト・リターン（2025年３月末）

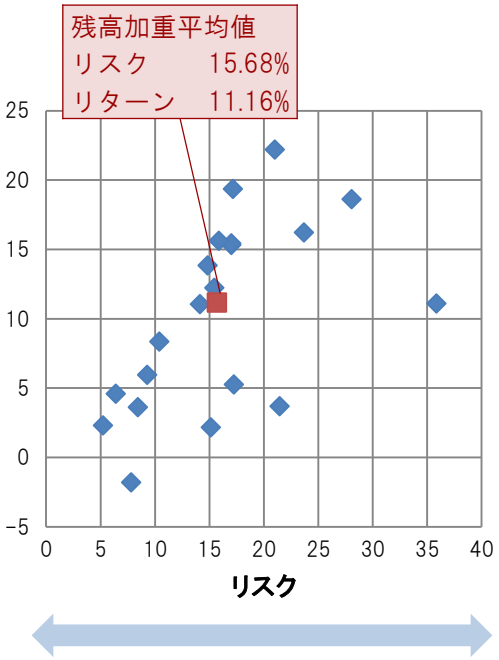


投資信託のリターン実績（リスク・リターン）

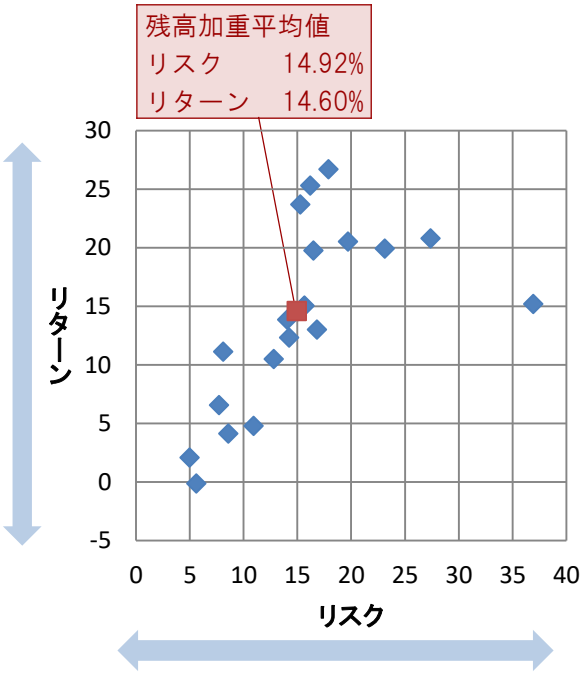
リスク・リターン（2023年３月末）



リスク・リターン（2024年３月末）



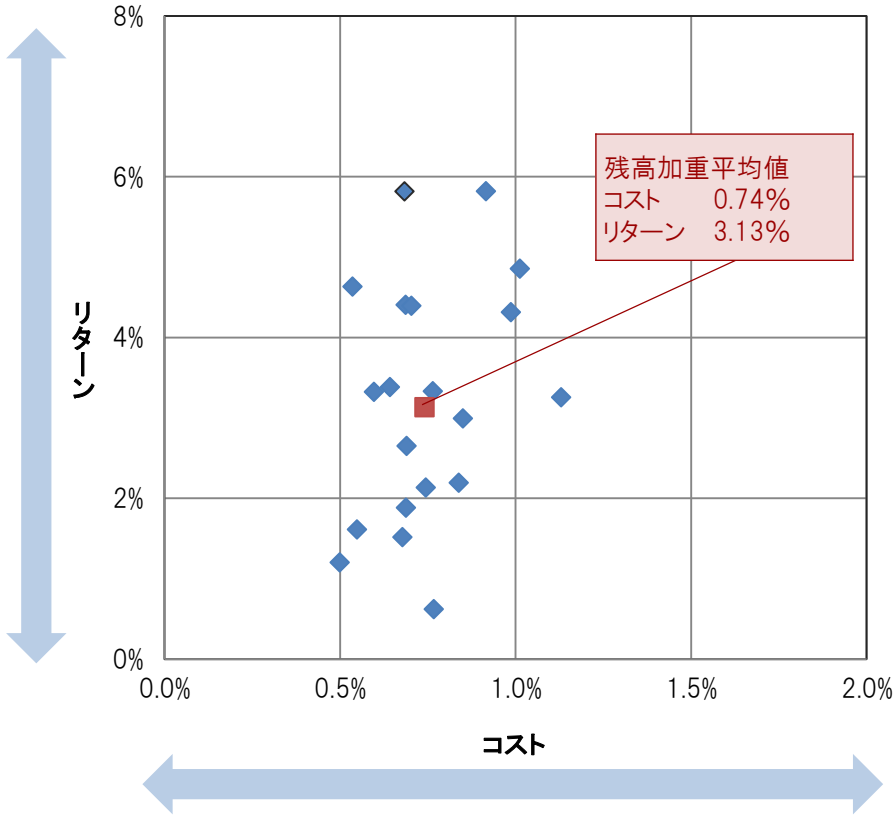
リスク・リターン（2025年３月末）



外貨建一時払保険のリターン実績（コスト・リターン）

- 残高上位20銘柄中、19銘柄でリターンがコストを上回っております。

銘柄名	コスト	リターン
プレミアプレゼント	0.84%	2.19%
やさしさ、つなぐ	0.50%	1.20%
ロングドリームGOLD3	0.99%	4.31%
夢のプレゼント	0.54%	4.63%
ふるはーとJロードグローバル	0.76%	3.33%
ロングドリームGOLD2	0.92%	5.82%
しあわせ、ずっと2	1.01%	4.86%
しあわせ、ずっと	0.74%	2.13%
たのしみ、ずっと	0.69%	1.88%
プレミアレシーブ(外貨建)	0.55%	1.61%
えらべる外貨建一時払終身保険＜受け取るタイプ＞　米	0.69%	4.41%
外貨建･エブリバディプラス　米	0.70%	4.39%
プレミアカレンシー･プラス2	0.85%	2.99%
おおきな、まごころ	0.77%	0.62%
えらべる外貨建一時払終身保険＜贈るタイプ＞　米	0.64%	3.38%
夢のプレゼント2	0.68%	5.82%
あしたの、よろこび	1.13%	3.25%
外貨建･エブリバディプラス　豪	0.69%	2.65%
ロングドリームGOLD	0.68%	1.52%
豪ドル建･一時払養老保険	0.60%	3.32%



	コスト(%)	リターン(%)
残高加重平均値	0.74%	3.13%

資産形成をサポートする積極的な情報発信

- お客さまの資産形成に向けた取組みをサポートするため、資産形成や資産運用を学ぶことができるセミナーを開催しております。企業などに勤務するお客さま向けに、「ためる・ふやす・そなえる・かりる」といった資産形成をテーマに「マネー講座セミナー」を開催しております。また、学生を対象とした学校への出張授業などにも取り組み、資産形成に関する知識を学ぶ機会をご提供しております。

マネー講座セミナーの実施状況

	回数		参加者数
		うちオンライン	
営業店主催セミナー	130	0	約1,500名
本部主催セミナー	20	8	約1,300名
合計	150	8	約2,800名

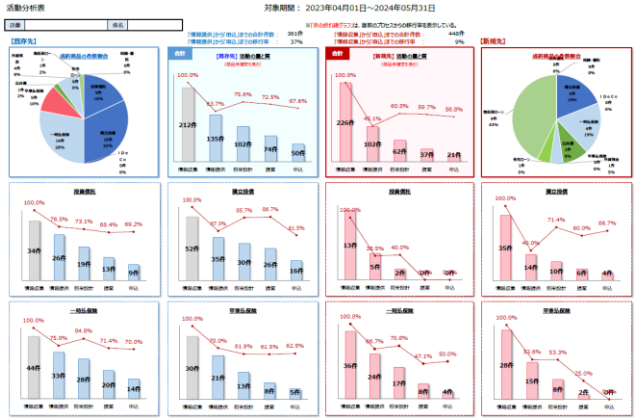
実施内容の一例

主なテーマ	参加人数
NISA･iDeCo活用術	173名
「人生100年時代」の資産運用について	61名
新春マーケットセミナー	150名
日米の金利と為替について	98名

6 職員に対する適切な動機づけ

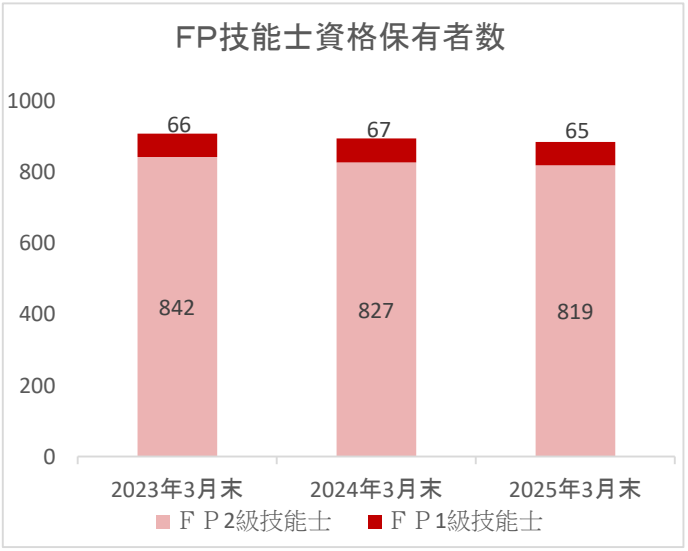
お客さま本位の業務運営定着に向けた人財育成

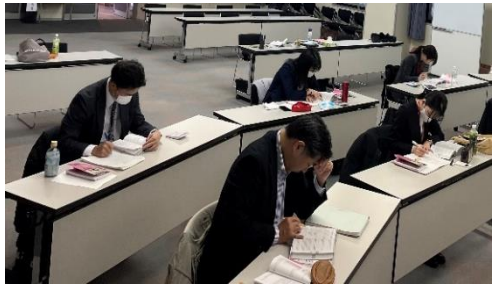
- 秋田銀行では、お客さま本位の業務運営方針に基づく行動計画に基づく活動を行うことにより、「安定的な資産形成を支援」することが、お客さまの「最良の未来の実現に貢献」するものと考えております。
- 各研修・勉強会を通じて、お客さま本位の考え方の浸透をはかり、ライフコンサルティングを実践できる人材育成に取り組んでおります。



ＦＰ技能士１級・２級資格保有者

- 高度なスキルと専門知識を有する人材を育成する観点から、ファイナンシャル・プランニング（ＦＰ）技能士資格を「コンサルティングの実践に必要な要件」として位置づけ２級以上の取得に向け取り組んでおります。ＦＰ取得に向けた研修のほか、通信講座の受講を奨励するなど、積極的なＦＰ資格取得を後押ししております。





FP1級技能士取得に向けたセミナー受講者

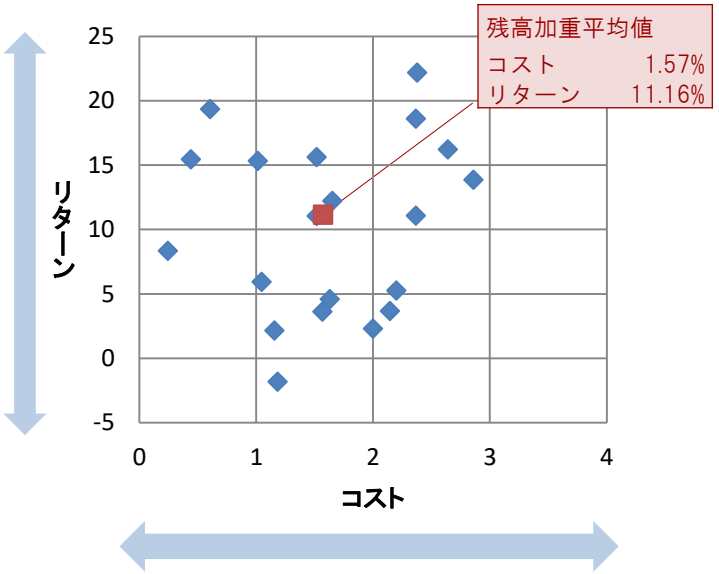
【参考】 投資信託預り残高上位20銘柄（2024年３月末）

2024年３月末

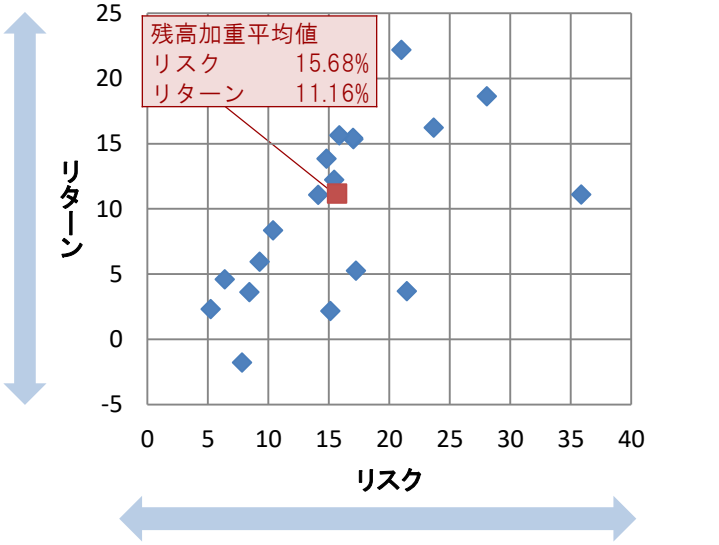
	商品名	コスト (%)	リスク (%)	リターン (%)
①	ひふみプラス	1.52	14.13	11.06
②	野村インデックスファンド・外国株式	0.61	17.17	19.35
③	グローバル・ロボティクス株式ファンド（１年決算型）	2.38	21.01	22.19
④	財産３分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.05	9.28	5.94
⑤	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	2.86	14.82	13.85
⑥	インデックスファンド２２５	1.01	17.02	15.33
⑦	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	1.56	8.43	3.62
⑧	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.00	5.23	2.31
⑨	グローバル・フィンテック株式ファンド	2.37	35.86	11.09
⑩	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（１年決算型）	2.37	28.05	18.61
⑪	野村インデックスファンド・日経225	0.44	17.01	15.44
⑫	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	1.16	15.12	2.16
⑬	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.15	21.46	3.68
⑭	つみたて８資産均等バランス	0.24	10.38	8.35
⑮	トレンド・アロケーション・オープン	1.18	7.82	-1.80
⑯	コモンズ３０ファンド	1.52	15.87	15.63
⑰	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド（毎月分配型）	1.63	6.40	4.59
⑱	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.20	17.24	5.26
⑲	ＨＳＢＣ インド オープン	2.64	23.67	16.23
⑳	ＤＩＡＭ世界好配当株オープン（毎月決算コース）	1.65	15.44	12.22

（注）1　上位銘柄は設定後５年以上経過している投資信託を対象（現在募集停止している銘柄を含む）
　　2　コストは、過去５年間の１年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示
　　3　リスクは、過去５年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示
　　4　リターンは、過去５年間のトータルリターンを年率に換算して表示

■コスト・リターン



■リスク・リターン



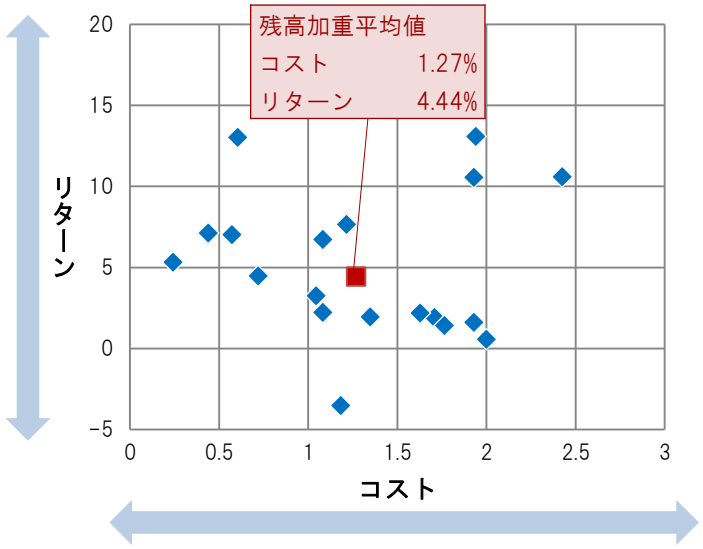
【参考】 投資信託預り残高上位20銘柄（2023年３月末）

2023年３月末

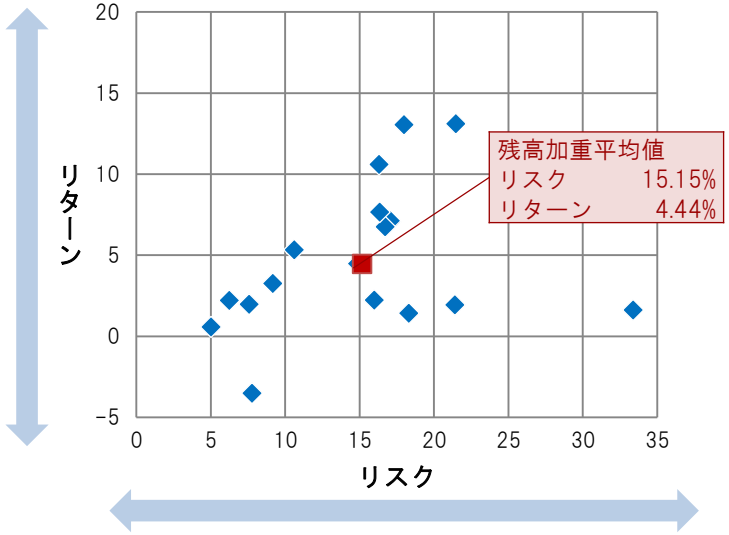
	商品名	コスト（%）	リスク（%）	リターン（%）
①	ひふみプラス	1.08	15.97	2.23
②	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	1.35	7.58	1.99
③	財産３分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.05	9.16	3.25
④	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.00	5.00	0.57
⑤	インデックスファンド２２５	0.57	17.06	7.03
⑥	グローバル・ロボティクス株式ファンド（１年決算型）	1.94	21.45	13.09
⑦	野村インデックスファンド・外国株式	0.61	17.97	13.03
⑧	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	0.72	14.85	4.48
⑨	トレンド・アロケーション・オープン	1.18	7.76	-3.52
⑩	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	2.42	16.30	10.59
⑪	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（１年決算型）	1.93	27.04	10.56
⑫	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	1.71	21.39	1.92
⑬	グローバル・フィンテック株式ファンド	1.93	33.37	1.62
⑭	野村インデックスファンド・日経225	0.44	17.05	7.12
⑮	つみたて８資産均等バランス	0.24	10.59	5.32
⑯	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	1.76	18.29	1.42
⑰	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド（毎月分配型）	1.63	6.23	2.20
⑱	コモンズ３０ファンド	1.08	16.70	6.74
⑲	ＤＩＡＭ世界好配当株オープン（毎月決算コース）	1.21	16.33	7.65
⑳	高金利先進国債券オープン（資産成長型）	1.35	7.57	1.96

(注)1　上位銘柄は設定後５年以上経過している投資信託を対象（現在募集停止している銘柄を含む）
　　2　コストは、過去５年間の１年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示
　　3　リスクは、過去５年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示
　　4　リターンは、過去５年間のトータルリターンを年率に換算して表示

■コスト・リターン



■リスク・リターン



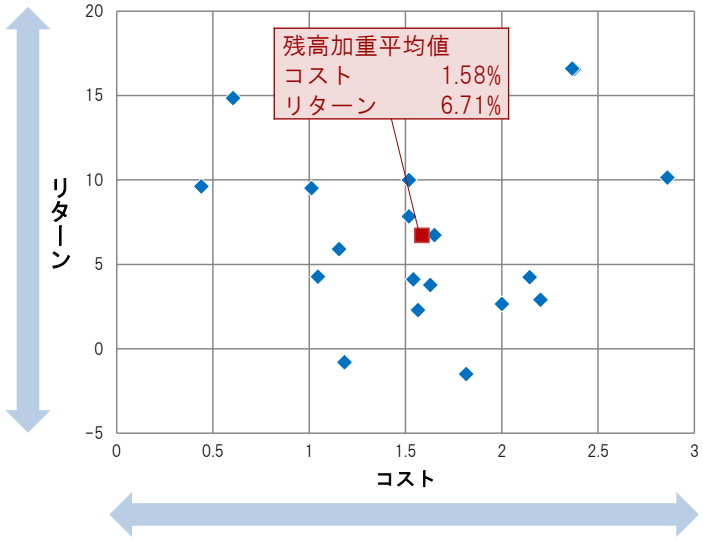
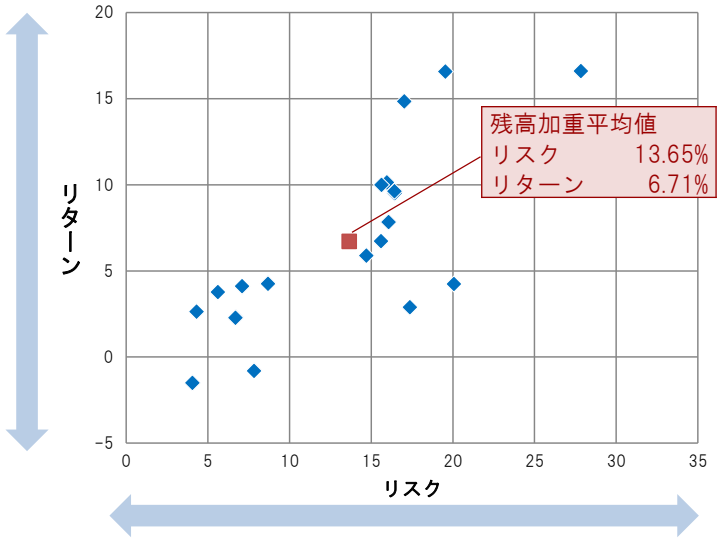
【参考】 投資信託預り残高上位20銘柄（2022年３月末）

2022年３月末

	商品名	コスト（%）	リスク（%）	リターン（%）
①	ひふみプラス	1.52	16.07	7.83
②	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	1.56	6.70	2.31
③	財産３分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.05	8.69	4.26
④	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.00	4.31	2.64
⑤	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	1.16	14.70	5.89
⑥	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.15	20.07	4.24
⑦	インデックスファンド２２５	1.01	16.44	9.51
⑧	トレンド・アロケーション・オープン	1.18	7.83	-0.80
⑨	グローバル・ロボティクス株式ファンド（１年決算型）	2.38	19.54	16.57
⑩	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	2.86	15.96	10.14
⑪	グローバル・フィンテック株式ファンド	2.37	27.84	16.60
⑫	野村インデックスファンド・外国株式	0.61	17.02	14.84
⑬	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.20	17.37	2.89
⑭	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド（毎月分配型）	1.63	5.62	3.77
⑮	野村インデックスファンド・日経225	0.44	16.43	9.62
⑯	高金利先進国債券オープン（資産成長型）	1.56	6.69	2.28
⑰	ＤＩＡＭ世界好配当株オープン（毎月決算コース）	1.65	15.61	6.73
⑱	コモンズ３０ファンド	1.52	15.64	9.99
⑲	世界ソブリン債券・日本株ファンド（毎月分配型）	1.54	7.10	4.11
⑳	ＢＡＭワールド・ボンド＆カレンシー・ファンド（毎月決算型）	1.82	4.05	-1.50

（注）1　上位銘柄は設定後５年以上経過している投資信託を対象（現在募集停止している銘柄を含む）
　　2　コストは、過去５年間の１年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示
　　3　リスクは、過去５年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示
　　4　リターンは、過去５年間のトータルリターンを年率に換算して表示

■コスト・リターン



■リスク・リターン